



とうのしょうまち

東庄町議会だより

第170号

令和元年
12月1日
発行

発行 / 東庄町議会

〒289-0692 香取郡東庄町笹川い 4713-131 電話 0478 (86) 1111



これが最後だ！全力つくせ 石出っ子

石出小学校最後の運動会に、子供たち一人一人が
全力で取り組みました。



目次

- 9月定例会の内容 2～3
- 監査委員意見の概要 4
- 常任委員会
- 行政視察研修報告 5～7
- 一般質問 8～15
- 議会トピックス 16



コジユリンスくん

9月定例会

平成30年度決算を認定 議員発議で会議規則の改正

定例会の経過概要

9月定例会初日の3日には、一般質問を8人の議員が行った後、特別委員会調査報告、議会会議規則一部改正の議案が上程され、原案のとおり可決しました。

2日目の4日には条例の一部改正及び補正予算等の議案8件が順次上程され、いずれも原案のとおり承認・可決しました。

次に、平成30年度の8会計決算認定が順次上程され、予算決算常任委員会に審査を付託しました。

続いて、請願1件が上程され趣旨説明の後、所管の常任委員会に付託しました。

5日、6日及び9日には予算決算常任委員会を開催し、平成30年度各会計決算について慎重かつ詳細な審査を行いました。

また、10日には、文教福祉常任委員会を開催し、付託された案件の審査を行いました。

最終日の13日には、平成30年度各会計決算について、予算決算常任委員長から審査



議会改革特別委員長

結果の報告があり、採決をした結果、各会計決算とも認定しました。

続いて、文教福祉常任委員長から、付託された請願の審査結果の報告があり、採決の結果、採択としました。

主な議案等の概要

◎東庄町議会会議規則の一部改正
近年の社会情勢などを勘案し、会議規則の一部改正を行うものです。

◎東庄町印鑑条例の一部改正
住民基本台帳法施行令等の一部を改正する政令が施行されることに伴い、所要の改正を行うものです。

◎東庄町特定教育・保育施設に係る利用者負担額に関する条例の一部改正
子ども・子育て支援法の一部を改正する法律の施行に伴う関係法令の整備等及び経過措置に関する政令が施行されることに伴い、所要の改正を行うものです。

◎東庄ふるさと応援基金条例の一部改正

現在、当町は寄付金の使途選定を使途選定委員会が行うこととしていますが、寄付者本人が使途を選択で

きるよう、所要の改正をするものです。2

◎東庄町過疎地域自立促進計画の変更
過疎債対象事業に変更が生じ、法に基づき過疎計画の変更手続きが終了したため、議会の議決を求めるものです。

◎工事請負契約の締結について
東庄町学校給食センター厨房設備設置工事請負契約の締結について、関係法令の規定に基づき、議会の議決を求めるものです。

◎一般会計補正予算
補正額は、663万8千円で、補正後の歳入歳出予算の総額を70億2161万円とするものです。

補正の主な内容は、幼児教育・保育の無償化に伴う例規及びシステムの改正、副食費の助成、小学校統合に向けた体育館音響施設の整備、中学校駐輪場等整備付帯工事費等を計上したものです。その他4月の人事異動による人件費を補正したものです。

◎介護保険特別会計補正予算
補正の主な内容は、国庫支出金等過年度分返還金1862万3千円、一般会計繰出金841万1千円、その他4月の人事異動による人件費を補正したものです。

9月定例会上程議案等議決結果

賛成=○ 反対=× 議長=—
(議長は、採決に加わりません)

議案番号	議案名	議決結果	桜井莊一	土屋光正	宮澤健	佐久間義房	板寺正範	花香孝彦	大網正敏	高木武男	鈴木正昭	山崎ひろみ	土屋進	宮崎正吾	鎌形寿一	城之内一男	
発議第1号	東庄町議会会議規則の一部を改正する規則を制定することについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第48号	東庄町印鑑条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第49号	東庄町特定教育・保育施設に係る利用者負担額に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第50号	東庄ふるさと応援基金条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第51号	東庄町公告式条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第52号	東庄町過疎地域自立促進計画の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第53号	東庄町学校給食センター厨房設備設置工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第54号	令和元年度東庄町一般会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第55号	令和元年度東庄町介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定第1号	平成30年度東庄町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定第2号	平成30年度東庄町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定第3号	平成30年度東庄町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定第4号	平成30年度東庄町食肉センター特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定第5号	平成30年度東庄町訪問看護ステーション特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定第6号	平成30年度東庄町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定第7号	平成30年度東庄町水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	原案可決 認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定第8号	平成30年度東庄町国民健康保険東庄病院事業会計決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
請願第3号	建設アスベスト訴訟の全面救済と建設石綿被害者補償基金の創設を国に働きかける意見書の提出を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
意見書案第6号	建設従事者のアスベスト問題の早期救済・解決を求める意見書について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
意見書案第7号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—



本議会のように

**平成30年度各会計歳入
歳出決算監査委員
意見の概要**



平山 茂 代表監査委員

一般会計・特別会計

財政力指数は、前年度に比べ僅かに増加したものの、平成19年度のピーク時にはまだ及ばず、引き続きの財政基盤強化の取り組みに努められたい。

次に、経常収支比率は、対前年度に比べ硬直化傾向が見られるため、予算執行において継続的な経費抑制に努め、比率改善に更に努力されたい。今後とも依存財源である地方交付税及び国・県補助金の削減が予想される財政運営の中、歳出において消費的経費・投資的経費の適正な割

合を維持することが肝要と考える。町税の徴収率は、高レベルを保っており、滞納に対する職員の積極的で、かつ高い意識での徴収努力は評価するものである。徴収率は健全な財政運営のためにも、その根幹をなすものであり、町民の納税意識の高揚を図りつつ、引き続き徴収率の向上に努めることを望むものである。

次に、国民健康保険特別会計については、不納欠損及び収入未済額は対前年比減となっており、徴収率も年々上昇傾向にある。しかしながら、まだ低水準にあり、憂慮すべき事態であることに変わりはない。今後とも、引き続き短期被保険者証制度の活用による納税の励行を即す取り組みをすると共に、悪質滞納者に対しては、資格証制度の適用に厳しく対処するなど、積極的に滞納額減少に努められたい。

介護保険特別会計については、徴収率が依然高い水準を保っていることを、評価したい。

近年、順調に推移している本町の財政状況だが、町民に真に理解されているか懸念されるところもあるため、更なる要望として、わかりやすい形での町民の広報に、引き続き努められたい。今後の財政運営においては、税及び地方交付税の財源確保が厳しい中、少子高齢化の進行に伴う保険・医療・福祉施策に要する経

費の増加は避けられない状況にある。今後とも、事務事業の更なる効率化の検討及び歳入の増収・歳出縮減に取り組み、町民満足度の高い町政運営を強く望むものである。

水道事業

行政区内内の人口減少が続く中景気、災害等種々の要件が影響することを考慮し、的確な需要予測等に基づいた、効率的な事業運営に今後も努められたい。

経営状況については、黒字決算を維持しているが、災害時における給水体制・設備の充実も強化されてきたところであり、補助金が減少傾向にある中、なお一層の経営努力に引き続き取り組み、健全経営を目指していただきたい。また、老朽設備の耐用年数経過に伴い、多額の費用を必要とする更新事業の発生は必然となるため、町民から理解を得られるような設備管理の強化と、中長期的な経営計画を、引き続き策定されることを強く要望する。

国保東庄病院事業

平成30年度は、和式トイレを洋式に改修、CT用造影剤注入装置等の更新がされた。今後も、高度医療の要求に応えると共に、患者の利便性

向上に更なる充実を図られたい。また、近辺に新規老人施設の新設と、総合病院の建て替えにより、患者数の減が病院経営に多大な影響を及ぼしているところであったが、それをも乗り越えたことは、医師・スタッフが意識改革を図り、総力を挙げ、医療体制の充実と患者サービスの向上に努められた結果と考え、評価するものである。

今後とも、旭中央病院との連携を軸に、地域の中核医療・療養施設としての役割を果たすべく、医師等の確保に万全を期すと共に、地域住民に対し、安全で安心な医療が長期的視野で提供されることを望むものである。

監査委員 平山 茂
監査委員 土屋 進



本会議での監査報告

予算決算常任委員会報告

予算決算常任委員会における質疑、意見等の概要は次のとおりです。



予算決算常任委員長

(一般会計 歳入)

意見 税務関係の徴収率が向上しており、職員の努力に対し評価する。

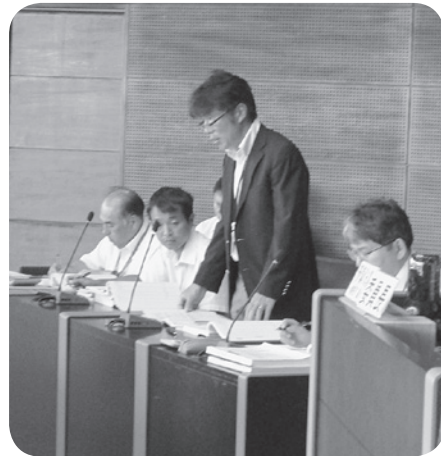
(一般会計 歳出)

質 全国町村総合賠償保険の内容は、

答 町が所有管理等する施設の瑕疵、業務上の瑕疵についての損害賠償が主となっております。

質 地域防災計画の避難所の収容人数は不足してはいないか。

答 東日本大震災の際に、公民館、保健センター、ふれあいセンター、役場庁舎を避難所とし開設いたしました。各小中学校は開設しておりませんので、収容人数に余裕があるものと考えております。



質 敬老祝金について、希望者には、コジユリンカードでの支給は可能か。



答 コジユリンカードでの配布は可能かと思うが、人数の把握が必要

となり、今後検討をしていきたいと思えます。
質 東庄霊園の無縁仏の容量が充満状況だが、今後の増設予定はあるのか。



答 無縁仏につきましては満ちた状態となつてきており、増設について検討しているところです。



質 不法投棄監視委員の活動及び選任方法は。



答 町内4地区を8名の監視委員により、月に1回ないし2回担当地区をパトロールしていただき活動報告書を提出していただいております。

選任につきましては、役場より依頼し承諾を得られた方をお願いしております。

質 井戸水の水質検査場所と結果は。

答 井地水の検査は、地下水検査ということで町内5カ所を毎年変更し調査を行っております。検査結果につきましては、環境汚染は、確認されておりません。

質 住宅支援補助金事業の目標件数不足の原因と対策は。

答 平成29年度から実施した事業であり、ホームページ、広報等で掲載していますが、まだまだ周知不足かと思えます。今後は、窓口だけでなく建設業界等幅広い業界にPRしていきたいと思えます。



答 町内の旅館で受け入れている学生の合宿の練習場所として、団体予約の手続きを代行可能として受け入れたことが考えられます。



質 弓道場の利用手数料が増えているがその要因は。



答 町内で開設し現在休止している介護施設への給付金が不正請求であり、返納手続きをしているものです。

(国民健康保険特別会計)
質 出産医療一時金の基準は。
答 出産育児一時金は、基準額は42万円ですが、実費ですので基準額未満の方もおります。
(介護保険特別会計)
質 歳入の返納金についての内訳は。



(水道事業会計)
質 建設改良積立金の用途は。
答 水道の排水管更新工事、配水池等の建設に充てるものです。
(東庄病院事業会計)
質 入院患者が減少しているが、入院収益が増額した理由は。



以上のような質疑・意見等が交わされ、当委員会に付託された、平成30年度各会計決算認定は、それぞれ採択した結果、決算書のとおり、認定すべきものとすることに決定しました。
また、水道事業会計決算における剰余金の処分については、原案のとおり可決すべきものとすることに決定しました。



答 診療報酬の点数改正により、新規に旭中央病院との医療機関連携加算によるものです。

文教福祉常任委員会報告

9月定例会の本会議において付託された請願については、所管の常任委員会において慎重に審査が行われました。
常任委員会における質疑、意見等の概要は次のとおりです。

(請願第3号 建設アスベスト訴訟の全面救済と建設石綿被害者補償基金の創設を国に働きかける意見書の提出を求める請願)

意見 現在、アスベスト被害による補償を求めている方々は多数いるが、裁判では時間も費用もかかるため、補償と救済が受けられる制度の創設に賛成する。

意見 欧米においては、早い時期に使用を禁止した。使用取りやめの遅い日本においては、被害者のピークが2030年頃に訪れる。

ついては、国の建設基準法において使用を認めた資材が原因のアスベスト被害者救済を求めることに同意する。

以上のような意見等があり、請願第3号について採決した結果、当委員会では賛成多数により採択すべきものと決定しました。



文教福祉常任委員会

議員・委員会合同行政視察研修

先進地に学ぶ

議会議員・常任委員会合同視察研修は、8月6日～8日の3日間の日程で行いました。

1日目は岐阜県高山市を訪問し、観光振興の取り組み（インバウンド戦略）につき研修。多様化する外国人観光客ニーズに因應するためには、受入体制の強化や、地場産品の海外宣伝活動の活発化等、多くの課題があることを担当者から聴き、国際的な観光振興を今後も持続するための難しさと多大な覚悟を知ることができた。高山市と当町では規模さえ違えば、近隣の成田国際空港からの外国人観光客を少しでも取り込むことができたならば、町の観光振興の一助になるのではないだろうか。

2日目は、当町と古から繋がりの深い東氏の拠点である岐阜県郡上市を訪れ、郷土芸能の継承につき研修。

日中は、古今伝授の故事を今に伝える「古今伝授の里フィールドミュージアム」を視察見学し、夕方からは、明建神社境内で、荘厳に執り行われる薪能「くるす桜」を鑑賞。

古に想いを馳せながら、当町でも永く受け継がれている「神楽」を後世に残すため、温故知新の精神のもと、尽力していかねばならないと決意を新たにしたり、大変実り深い研修となった。



岐阜県郡上市



岐阜県高山市



佐久間 義房 議員

スクールバスについて

問 事故等運行不能時の対処方法は、また、現在の運転手・添乗員の進捗状況につき、伺う。

教育課長 スクールバス運行不能時は、受託業者側が責任を持ち、代替車両により運行することとなっております。

また、進捗状況のうち、運転手の必要人数は確保できたと聞いておりますが、添乗員については、現在も募集中とのことです。

問 保険の加入内容は。

教育課長 搭乗者を含む対人・無制限、対物・無制限、車両保険・減価償却分の時価で加入とのこと。

また、運行にあたり、町に生じた損害及び第三者に及ぼした損害については、受託者側で賠償することとしています。

問 バスの確保のめどは。

教育課長 バスは、受託者の東城観光自動車で用意することとなり現在、中型バス新車4台・中型中古バス4台・マイクロバス中古1台の9台は確保しているとのこと。

問 運転手及び添乗員の名簿・給料についても伺いたい。

教育課長 名簿は、契約締結後、速やかに教育委員会へ提出させます。運転手の免許は大型2種となり、給料については、千葉県の最低賃金を下回らないよう指導いたします。

問 部活動時の対応と料金については、如何か。

教育課長 平日、授業後の部活動について、年間契約の基礎となる1日当たりの運行時間と運行距離を超過する場合は、協議の上、別途単価契約を結ぶこととなります。休日の大会遠征時においても別途協議の上単価契約となります。参考に、香取市佐原付近であれば中型バスの場合、1日約4万5千円位とのこと。



長野県飯綱町

より来庁

台風15号により被害を受けた当町へ、飯綱町の方が、災害見舞に来庁されました。



長野県飯綱町へ

災害見舞に

10月18日～19日、台風19号により被災された飯綱町へ町関係者と共に、災害見舞に行ってきました。



東庄町議会議員

飯綱町町長





山崎 ひろみ 議員

災害時の町民を守る 取り組みについて

問 防災訓練、防災協力員、土のうボックス、液体ミルク等我が町の現状と課題は。

総務課長 まず防災訓練について、毎年6月初旬に役場駐車場で、消防団・区長会・民生委員・町職員等が参加し、防災演習を実施しております。また防災協力員ですが、町では各区を自主防災組織と位置付けております。行政と地域住民が連携・協力し合い防災活動を行っていただくことを想定しておりますので、各区の区長様方が防災協力員にあたるものと考えます。次に、土のうについては、水防倉庫にストックしており、台風前の出水期には希望する町民へ支給しているため、土のうボックスはありませんが本町の特性に合った方法で、ストックについては検討してまいります。災害時備蓄品としての液体ミルクについては、必要と考えますので、早速配備してまいります。

ごみ行政について

問 循環型社会を目指し、生ごみの堆肥化とリサイクル化を促進するための取り組みを伺う。

町民課長 町では、平成3年度からコンポスト、14年度から生ごみ処理機も加え、購入費用の一部を補助しておりますが、生ごみリサイクルを実施している家庭は、少ないと感じております。また、リサイクル化として、「生ごみの3キリ」、使い切り・食べ切り・水切りにつき、平成29年10月号広報に、掲載いたしました。まずは自分の出来ることから気軽に取り組んでいただくことが大切と考えます。ダンボールコンポストについては、今後も広報紙やホームページ、ごみ分別出張PR等で啓発したいと思っております。

問 可燃ごみの収集方法については如何か。

町民課長 現在の収集方法は、「ルート方式」というもので、収集ルート上であれば自宅前を出して良いとなります。また、数軒まとまり自主的ステーションの形となる箇所もあります。町と香取広域市町村圏事務組合で定めた一般廃棄物処理基本計画では、組合管内の収集方法の一元化を目標としておりますので、ステーション方式導入につき、慎重に検討をしているところであります。また、国

道沿いについては、作業員の事故防止、通行車両の渋滞緩和のため、朝の通勤時間帯の収集を避けるなど、時間の工夫もしております。

教育行政について

問 小・中学校の2学期制の導入につき、町の見解を伺う。

教育課長 近年は、働き方改革の観点から2学期制の導入という考えもございしますが、3学期制のまま、教師の働き方改革に対応した通知表のスタイルを工夫している学校もございします。現段階では、本町の小中学校の2学期制導入は考えておりません。**問** 部活動指導員の受け入れの現状と課題は如何に。

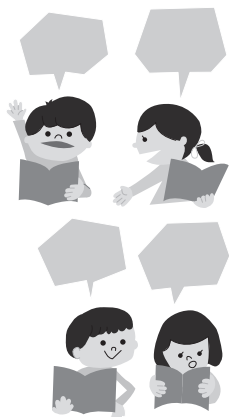
教育課長 中学校の部活動では、顧問となる教諭が必ずしもその専門とは限らないため、生徒に知識を教えられず、苦勞しているとの話を聞いております。幸い、今の東庄中学校の部活動顧問は、そのほとんどが顧問である部活動の経験者であるため、運動部において1名の方を外部指導員としてお願いしているのが現状です。課題として、部活動指導員は、実技指導のみならず保護者への連絡から練習試合、事故発生時の現場対応等、正規教職員と変わらない責任が生じてくることから、制度化されても人員確保が難しいと思われま

しかしながら、教職員の働き方改革による業務軽減等の観点からも重要と考えますので、適任者がいれば積極的に受け入れていきたいと思っております。

問 子ども議会を開催する考えはあるか。

教育課長 過去、平成7年から13年までの7回にわたり、社会科授業の一環として中学3年生を対象に、模擬議会を実施いたしました。中止となった経緯は、事前打ち合わせから質問事項の指導・行政との調整・リハーサルに至るまで、多大な時間を費やしたためと聞いております。また、当時の教育課程カリキュラムの変更に伴い、授業時数の確保が非常に厳しい状況となったことにより、学校側からの実施しないとの判断を尊重したとのことでした。

しかし、昨今、18歳選挙権が実施となったことから、町や政治に関心を持たせ体験することは、非常に良いことだと考えます。今後は、子ども達のストリートな意見を聞く機会として、学校側と実施に向け、前向きに検討してまいります。





高木 武男 議員

スクールバスの運行管理について

問 車両の安全確保につき、町の見解を伺います。

教育課長 車両の点検整備に関しましては、業務委託契約の中に盛り込むこととなります。

この業務委託契約書の中で、受託者が安全運転管理者と整備管理者を置くこととなっているため、日常、教育委員会が直接関わることはありませんが、後日、日報等で報告を受ける形となります。

問 運転者の健康管理について、どのように把握する考えでありますか。

教育課長 こちらも受託契約の中に盛り込むこととなります。

仕様書の中で「運転手の健康状態を把握し、健康診断の受診結果等を踏まえて適切な運行管理を行うこと」と「運転手及び添乗員の緊急時の交代要員について、確保できる体制が整っていること」となっており、

受託業者が出発前の朝礼等で乗務員の健康状態を把握し、万全な態勢をとることとなります。



問 バスの運転業務だけの委託から、車両を含む全てを委託としたのは、なぜですか。

教育課長 全面業務委託としたメリットとして、スクールバスが故障した場合の代替車両の確保や維持管理において、町が駐車場所の確保や運行管理者・整備責任者の配置が不要となることあげられます。

最大のメリットは、運行業務を5年間の長期継続契約とすることです、それ以降に児童が増減しても、スクールバス台数の必要数の変動にも臨機応変に対応可能となることなどがあります。

このような内容から、現在の9台でのスクールバスを、車両を含め全面業務委託とした次第であります。

問 一般的に、現職の議員が町との間で業務委託契約を締結することはできないと思いますが、町の見解は。

今回のスクールバス業務委託契約は、違法ではないですか。

教育課長 現職の議員が、町との業務委託契約を締結することはできませんが、プロポーザルにおいて選定しました会社の登記簿等を確認しました結果、現職の議員は役員名簿にはございません。

そのため、法的には問題なく、違法ではないと考えます。行政の業務執行に当たっては、法律に基づき執行しておりますので、法的に問題なければ、適正な業務執行と考えます。

問 法律に問題がなくても、倫理的には出来ないと思いますが、町の見解を求めます。

町長 法律には、何の問題もありません。



香取おみがわ医療センター

竣工式・内覧会へ

8月23日、香取おみがわ医療センター（元小見川総合病院）竣工式及び内覧会が行われ、全議員が出席いたしました。



香取おみがわ医療センター



内覧会のようなす



桜井 荘一 議員

環境問題への取り組みについて

問 町内河川の水質汚濁状況につき、伺う。

町民課長 町では、生活排水の流入が多い河川として黒部川と桁沼川の2河川の水質検査を年4回(3・6・9・12月)に業者委託で行っております。また、検査項目は、水素イオン濃度他7項目あり、水道水源である黒部川については貯水池化することで、上水道の水源を確保するという性質もあります。

しかし、水の流れがないため、なかなか水質改善とはなっておりません。今後、生活排水対策として合併処理浄化槽の設置をさらに促進し、水質改善に繋げて行きたいと考えます。

問 ゴミゼロ運動の今後の計画は。

町民課長 ゴミゼロ運動は、住民が参加し、地域を清掃する有意義な活動であると認識しており、今後も実

施する考えであります。また、10月には、町内一斉クリーン作戦としてボランティア団体が活動の中心となり同様の地域清掃活動を実施しております。この運動の年間回数については、今後検討し、決定していきたいと考えております。町としては、住民の意識改革「ポイ捨てしない」「ごみが落ちていけば拾う」などモラルの改善に取り組むことが大切と考えますので、各種啓発を広報・ホームページ・啓発看板などで図ってまいりたいと思っております。

問 町の環境対策(ストロングポイント)は何か。

町民課長 まず、合併処理浄化槽の設置補助金があります。当町は近隣市町と比べても補助対象や補助金額の面が好条件であります。例えば、年度途中で予算不足となった場合も、補正予算対応に努め、補助金交付に支障なきよう努めているため、着実に設置基数は伸びております。

また、住宅用省エネルギー設置補助金については、県補助金を受けながらも、町単費を投入しながら補助を実施し、設置を促進しているところです。このような補助事業の充実が、環境対策のストロングポイントではないかと思っております。

※ストロングポイントとは・・・
 利点・長所・強み

**ふれあいまつりに
議員団が出店**

11月3日、ふれあいまつりに町議員団で「いちご味ポップコーン」を作り、出店しました。さて、お味はいかがだったでしょうか。



ポップコーンを作る議員団

**議会の傍聴に
お出かけください**

12月定例会は、12月17日(火)から開会予定です。
<http://www.town.tohnosho.chiba.jp/>





大網 正敏 議員

東庄町総合戦略の進捗状況について

問 結婚希望者の出会いの場の創出につき、町の見解を伺う。

総務課長 総合戦略の策定前から、東庄町結婚相談員会議が主催する婚活イベントは、実施されており総合戦略においても事業を組み込んだ形となっております。事業の実施実績として、平成27年に立食パーティ・東京デイズニールランド・いちご狩りを計3回、延べ63人、28・29・30年は東京デイズニールランドにそれぞれ35人・20人・20人の参加がありました。また、婚活応援事業を介した結婚組数の実績は、平成29年度に2組、30年度に1組で累計3組となっております。

問 結婚相談所などの企業による出会いの場の創出については如何か。

総務課長 民間企業の結婚相談所に登録することも有効な方法と考えますので、そのような場合には、会費

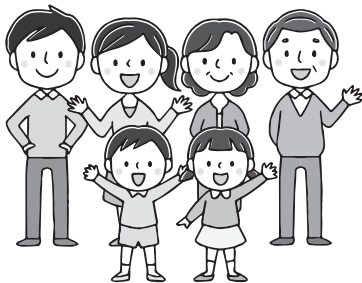
等を補助する等の検討が必要と思われれます。



問 U・I・Jターンによる移住希望者への支援は如何に。

総務課長 町総合戦略では、町内の空き家・空き地の情報を一括提示するため、平成28年に東庄町空き家空き地バンクを設置しました。

この他、子育て世代と親世代が同居するための住環境の整備に対する助成事業として、三世代ファミリー定住支援事業があります。



問 特産物ブランド確立による経済活性化の推進進捗状況は。

まちづくり課長 まず、物産品販路拡大事業では、いちご狩りや、飲食店で豚肉料理の食事をした際、双方で使用できる割引券を配布するキャンペーン事業を行っており、広告掲載等、町内外にも情報発信いたしました。また、まちづくりリーダー育成として、かとり農協青年部東庄支部に事業助成し、6次化や直売を目的し、栽培研修等を実施しています。

次に、農産加工品6次化産業支援ですが、コジユリン朝市への折込チラシ作成とイベントデーの開催支援を行っております。漬物等開発研究会へは、各種イベント会場で、町内産農産物を使用した試食品の提供をし、販路拡大PRに努めております。特産物のブランド化では、SPF豚関連で7件、野菜関連で2件が商標登録されています。

次にネット販売活動支援では、町観光いちご組合6園のホームページのQRコードが掲載されたパンフレットを作成し、販売促進を行っております。

この他、町では、県内や都内で開催する物産展へ参加し、販路開拓を目的として周知活動に努めております。次に、就労支援については、庁舎1階に求人情報を掲示するとともに、町ホームページとハローワーク

のホームページをリンクさせ、求人情報の提供を行っております。

問 ポーク&ビア夏祭りは、今後も継続するのか。

まちづくり課長 このイベントは、将来、U・I・Jターンの足掛かりとなることを目的に実施しており、特産である豚肉のPRと、観光事業推進にも寄与しているものと考えます。夏のイベントとして、町内外からの認知度も向上していますので、今後も継続してまいりたいと思います。



ポーク&ビア夏祭りのようす

問 町巡回バスの他、タクシーチケットの補助等は如何か。

総務課長 巡回バスでカバーできない住民ニーズについては、デマンド交通等、別途施策検討の必要があると思われれます。



宮澤 健 議員

東庄町の地方創生「総合戦略」について

問 「総合戦略」まち・ひと・しごと創生基本方針の作成主体につき、町の見解を問う。

総務課長 「東庄町総合戦略策定委員会設置要綱」を制定し、学識経験者・公募者の計15人を委員といたしました。内訳は、商工会や観光協会など各種団体から10人、一般公募が5人でした。会議では、住民アンケート調査結果分析と各事業の提案を議題に7回開催され、東庄町人口ビジョン(案)と東庄町総合戦略(案)が提示され、平成28年3月庁議において、両案とも決定いたしました。

問 人口ビジョン推計から見る町の産業構造と自然環境を伺う。

総務課長 当町でも、国における「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と同様に策定しており、2060年における就労人口の推計は、3千535人ですが、産業構造の推

計値はございません。

問 農業の家族経営体の高齢化と労働力不足、耕作放棄地の増加に対する対応策は。

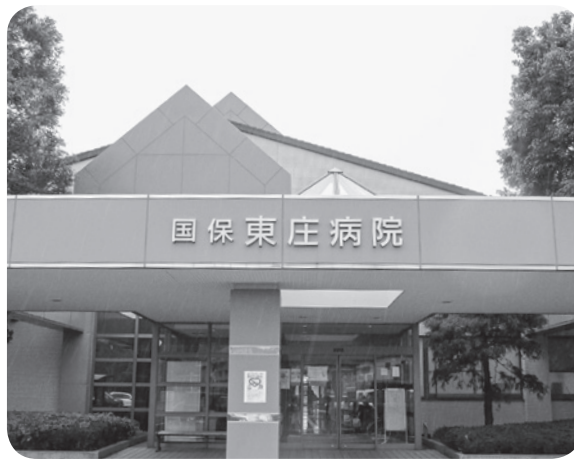
また、町全域の環境保全に対応する町の長期的な見解を伺う。

まちづくり課長 農村経営の低下や担い手減少を抑制するために、集落機能の維持や保全活動、営農活動が継続できるよう、集落営農の推進や多面的機能支払交付金を活用し、地域の環境保全創設等の組織活動の推進をしていく必要があると考えます。

また、農業後継者育成事業として、かとり農協青年部東庄支部の活動に対し、農業技術向上やGAP取得のための研修や六次産業化施設の視察などに対し、助成を行っております。また、耕作放棄地の増加を防ぐため、中間管理機構を活用し、担い手への農地集積集約化を推進してまいります。人・農地プランについても、より実質的なものとするため、区域の見直しやアンケート調査等を実施いたします。また、国の荒廃農地等活用促進交付金等を利用し、農地の再生や荒廃化の防止を推進してまいりたいと考えます。耕作放棄地に対する環境保全対策については、具体的に考えておりませんが、イノシシ等の野生動物が住みつきたり、棚田の崩壊などで地域の生活に影響が

あれば、今後対策を講じていく必要があると考えます。

問 今後の人口減少・少子高齢化に対応するための東庄病院の経営方針につき、現状と見通しを伺う。



病院事務長 東庄病院は、地域に密着した「かかりつけ医」機能から在宅医療に至るまで、広範囲を受け持つております。

また、保健福祉総合センターとの連携により、予防医療にも力を入れております。今後の医療需要は大きく変化することが見込まれ、医療提供体制の再構築も必要となつてくることと認識しております。

今後、増加が見込まれる慢性期医療と介護ニーズへの対応が必要であ

り、受け皿として創設された介護医療院も含め病床転換の方向性を検討し、適切な医療体制となるよう取り組んでまいります。また、医師と医療人材確保は最も重要でありますので、自治医科大学卒業医師の派遣申請により、現在2名の派遣を頂いております。

今後も県・町等関係機関と緊密に連携し、積極的に広報にも努め重要課題として取り組んでまいります。

問 新たな地方創生基本方針(人□から人材へ)の見解は。

総務課長 今回の当町における第2期総合戦略については、当初計画を内部検討会で検証し、必要な修正を行いつつ、パブリックコメントや議会説明などによりご意見を頂くことにより、策定したいと考えております。





板寺 正範 議員

人口減少、少子高齢化対策について

問 まち・ひと・しごと創生東庄町総合戦略の数値目標の達成度・課題点・今後の進め方は。

総務課長 平成30年度末の状況ですが、概ね目標値を達成できると思われる事業が12件、目標値達成にもう少し努力が必要な事業が15件、残念ながら進んでいない事業が10件となっています。今後の進め方ですが、今年度末で計画期間が終了となるため、第2期総合戦略の策定が必要となります。現在、国県からの通知や説明会により情報を収集しているところです。

今後は、内部検討会で検証を行い、必要な修正を行うことにより策定したいと考えております。

問 高齢の方の通院買い物等移動手段について、町の見解を伺う。

健康福祉課長 現在の移動手段には、おでかけ号がございます。今後、更なる高齢化対策として、利便性の良

いデマンド交通や乗合タクシーなどの運行の必要性につき、町としても十分認識いたしております。近隣自治体の状況、先進地の事例等を参考にし、関係各位のご意見を伺いながら、有効な交通手段を検討してまいりたいと考えてます。



おでかけ号

問 運転免許証の自主返納を進める考えはあるか。

総務課長 近年、高齢者ドライバーの運転誤りによる事故が多発している中、免許証を自主返納した後の移動手段がなくなることが問題となってきました。

また、運転免許自主返納後、公安委員会から「運転経歴証明書」を交

付された場合、公共交通機関の乗車運賃割引などの特典を受けられる例が増えてまいりました。千葉県内においても、タクシー利用券の助成などを行っている市町村がありますので、情報収集のうえ、今後検討してまいりたいと考えてます。

問 小学校統合による空き校舎利用の現状は。

総務課長 学校跡地利活用については、民間事業者による利用を重点に、3月に公募を開始し、4月から5月にかけて参加申込の受付を行った結果、6団体から問い合わせがありました。最終的には1団体の参加申込みとなりました。この1団体に対し、6月26日に二次審査（プレゼンテーション審査）を実施し、石出小学校の利活用につき、優先交渉権者と決定したものです。

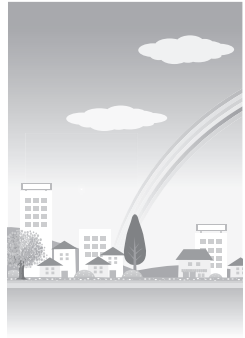
この9月定例会全員協議会で、優先交渉権者による事業内容説明を実施したのちに、事業者による住民説明会を実施する予定であります。また、今後の町と事業者との協力体制については、町補助金の検討、各種行政手続きの指導、行政情報提供などが考えられます。

現在ご協力いただいている、ちばぎん総合研究所も本事業にお力添えいただいております。跡地利活用は地域住民にとっても町行政においても非常に重要な事案ですので、町といた

しましても出来る限り協力してまいりたいと考えております。



この「議会だより」は、9月定例会の内容を要約したものです。全文は、東庄町ホームページ内東庄町議会・会議録からご覧下さい。



問 まちづくり会議の役割と議会との関連について

町は、今後開示する予定はあるか。

総務課長 「行政協力員まちづくり会議」は区長さん方と町長・課長職以上が一堂に会して、年3回開催し、町民視点による町政への提言や地域の課題解決に向けた意見交換を行っているものです。中には、区長会からの統一要望という形で関係機関へ要望書を提出し、一部事業化された事案もございます。会議の内容については、その都度公表しておりませんが、今後は必要に応じ、ホームページなどで町民の皆さんへお知らせしてまいります。



鎌形 寿一 議員

まちづくり会議の役割と議会との関連について

問 今後のまちづくり会議の方向性と議会との関連性は如何に。

総務課長 今後のまちづくり会議の方向性としては、現在の進め方が目的にかなっていると思えますので、行政協力員である区長さん方には、町民の視点から町政に対する意見・要望、地域住民の建設的な意見の集約及び提言を行って頂き、町民と行政の協働によるまちづくりを推進してまいりたいと考えております。

また、議会と区長会との交流につきましては、ご意見として承り、会長にお伝えしたいと思います。

問 各地区の回り番で、毎年統一要望を出してはどうか。

総務課長 このことに関しては、区長会としての自発的な活動になりますが、要望書が提出された場合は、真摯に対応してまいります。

武道を活かしたまちづくりについて

問 相撲・弓道等を活かし、インバウンドを含めた観光客誘致を視野に入れたまちづくりにつき、町の考えを伺う。

まちづくり課長 インバウンドに関する取組みとしては、北総観光連盟において、訪日外国人向け観光パンフレットを作成しており、当町は、相撲などの情報を掲載し、誘致促進

に努めております。

今年度は、タイの画家に、外国人目線からの地域風景画の作成を依頼し、当町は相撲を画題に作成していただく予定です。観光客誘致に関しては、今後も情報発信の強化に努めてまいります。

問 武道の精神を活かした、子ども達への教育につき、町はどのように考えるか。

生涯学習担当課長 まず、弓道場の整備から申しますと、現在、町内で弓道が行える場所は、町民広場・県民の森・事業者運営の弓道場があります。しかし、そのいずれもが近隣の道場です。遠的の整備を要望する声があることは認識しておりますので、今後、より多くの弓道ファンに利用していただくためにも、遠的の整備については、前向きに検討してまいります。

次に、子どもたちが武道に接する機会としては、笹川小の相撲体操や「出羽海部屋」夏合宿時のわんぱく相撲、中学3年生の日本文化体験での空手や弓道などがあります。統合後の東庄小学校でも相撲行事は残す予定です。また、町のスポーツ少年団には、現在134名の登録があり、体育館使用料の減免や体育協会からの助成も行ってまいります。

今後ともこれらの活動を支援し、地域の絆の中で、仲間との集団行動

を通し、心の成長へと繋げていけるよう、生涯にわたる教育として進めてまいります。



わんぱく相撲

問 「わが町東庄」の今後のまちづくりに対する考え方につき、町に伺う。

町長 まちづくりはひとつづくりと言われます。東庄町は小さな町ですが、何事もこの町から発信をしていくことが大事だと思います。何が出来るかで、町の存続が決まっていくと思いますので、ここは、精一杯踏ん張ろうと思っております。

まずは、一番に住んでいる方達を大事にすることが町の使命と考え、町民の方々に不満を感じさせないように、今後とも努力してまいりたいと思っております。

香取郡市町議会議員研修大会 自治功労者表彰を 4人の議員が受賞

8月23日、多古町コミュニティプラザを会場に、香取郡市町議会議員研修大会が、1市3町の議員をはじめ来賓多数を迎え開催されました。



花香孝彦議員 板寺正範議員 佐久間義房議員 大網正敏議員

議会活動日誌

【議長・議員が出席した主な行事】

8月

- 1日 千葉県町村議会議員研修会
- 3日 東庄音頭盆おどり会
- 5日 千葉県後期高齢者医療広域連合議会第1回臨時会
- 6日 議員・委員会合同視察研修（～8日）
- 9日 介護保険運営協議会
- 10日 東庄ポーク&ビア夏祭り（～12日）
- 15日 東庄町戦没者慰霊祭
- 23日 香取おみがわ医療センター竣工式及び内覧会
〃 香取郡市町議会議員研修大会
- 27日 議会運営委員会
- 28日 香取広域市町村圏事務組合議会決算審査並びに例月出納検査
〃 地域活性化事業審査会

9月

- 2日 令和元年8月東総広域水道企業団議会定例会
- 3日 議会9月定例会本会議
- 4日 議会9月定例会本会議
- 5日 予算決算常任委員会
- 6日 予算決算常任委員会

- 9日 予算決算常任委員会
- 10日 文教福祉常任委員会
- 13日 議会9月定例会本会議・全員協議会
- 14日 東庄中学校運動会
- 21日 町内全小学校運動会
- 26日 金婚・米寿をお祝いする会
- 29日 東庄町歌謡愛好会発表会

10月

- 2日 利根川下流域市町議会議長会定例会
- 4日 東庄町小中学校音楽会
- 18日～19日 台風19号災害見舞（長野県飯綱町）
- 18日 町小学校ミニバスケットボール大会
- 23日 高齢者いきいきレクリエーション
〃 第1回東庄町学校給食調理業務委託業者選定委員会
- 25日 香取広域市町村圏事務組合議会・議運・全協・定例会
- 27日 小見川交通安全協会東庄町支部視察研修（～28日）
- 29日 「東庄町民号」町民の旅（～31日）

◆編集後記◆

台風15号19号と連続での襲来、河川の増水と避難勧告が発令されました。

被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。自然災害の猛威に対し、改めて人間としての無力さというものを思い知らされ、備えとは何をどの様にと改めて考えなくてはなりません。

小学校の統合も控えており、各行事が頭に最後のと付いて寂しさも漂いますが、児童達は交流会を重ね友達となり音楽発表会では言葉を交わしていました。

改選後も議会内容が皆様に率直に伝わるよう、委員会として紙面の充実に努めてまいります。

宮澤 健

議会広報編集委員

- 委員長 花香 孝彦
- 副委員長 宮澤 健彦
- 委員 山崎 ひろみ
- 鈴木 正昭
- 大網 正敏
- 土屋 光正

